

# 食肉センター食肉市場特別会計

平成 18 年度決算状況

歳 入	決 算 額	歳 出	決 算 額
1. 事業収入	84,811,594 円	1. 業務費	478,581,034 円
2. 県支出金	59,574,000 円	2. 公債費	111,680,219 円
3. 繰入金	306,782,000 円	3. 予備費	0 円
4. 繰越金	12,839,807 円		
5. 諸収入	30,433,250 円		
6. 市債	114,800,000 円		
合 計	609,240,651 円	合 計	590,261,253 円
		収 支	18,979,398 円

## 歳入

### 款 1 事業収入

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
80,889,000 円	84,811,594 円	84,811,594 円	104.8%	0 円	0 円

### 項 1 事業収入

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
80,889,000 円	84,811,594 円	84,811,594 円	104.8%	0 円	0 円

### 目 1 食肉センター使用料

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
60,146,000 円	62,421,056 円	62,421,056 円	103.8%	0 円	0 円

### 目 2 食肉市場使用料

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
20,743,000 円	22,390,538 円	22,390,538 円	107.9%	0 円	0 円

事業収入は、当特別会計の自主財源となっています。収入増は、食肉センター使用料（豚）2,855,856 円増と卸売業者市場手数料（豚）1,532,906 円増によるものです。

昨年度と比較して、と畜頭数を基にした食肉センター使用料、取扱高を基にした卸売業者市場使用料ともに牛は減額、豚は増額となりました。事業収入全体としては、506,160 円の増額となりました。

項 目	金 額 (円)	備 考
食肉センター使用料	62,421,056	
牛	6,955,200	2,100 円 / 頭
豚	55,465,856	577 円 / 頭
食肉市場使用料	22,390,538	
冷蔵庫使用料	11,818,800	1,050 円 / m <sup>2</sup> / 月
卸売業者市場使用料 (牛)	1,264,592	取扱高 × 2 / 1,000
卸売業者市場使用料 (豚)	6,477,906	取扱高 × 2 / 1,000
卸売業者売場使用料	189,000	210 円 / m <sup>2</sup> / 月
事務所使用料	2,638,440	315 円 / m <sup>2</sup> / 月
敷地占用料	1,800	電柱 1 本、支線 1 条

## 款 2 県支出金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
59,574,000 円	59,574,000 円	59,574,000 円	100.0%	0 円	0 円

### 項 1 県補助金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
59,574,000 円	59,574,000 円	59,574,000 円	100.0%	0 円	0 円

#### 目 1 食肉センター補助金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
19,148,000 円	19,148,000 円	19,148,000 円	100.0%	0 円	0 円

#### 目 2 食肉市場補助金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
40,426,000 円	40,426,000 円	40,426,000 円	100.0%	0 円	0 円

集出荷対策及び施設整備に伴い借入した市債償還 (元金・利子) に対する県補助金

食肉処理施設再整備事業費補助金 19,148,000 円

市場機能強化対策事業費補助金 40,426,000 円

## 款 3 繰入金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
306,782,000 円	306,782,000 円	306,782,000 円	100%	0 円	0 円

**項1 繰入金**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
306,782,000 円	306,782,000 円	306,782,000 円	100%	0 円	0 円

**目1 一般会計繰入金**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
306,782,000 円	306,782,000 円	306,782,000 円	100%	0 円	0 円

繰入金は、一般会計から予算全額を繰り入れました。なお、収入済額の内、2,728,000 円は年度内に事業が完了しなかった施設維持管理工事の財源として明許繰越しました。

**款4 繰越金**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
12,000,000 円	12,839,807 円	12,839,807 円	107.0%	0 円	0 円

**項1 繰越金**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
12,000,000 円	12,839,807 円	12,839,807 円	107.0%	0 円	0 円

**目1 繰越金**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
12,000,000 円	12,839,807 円	12,839,807 円	107.0%	0 円	0 円

**款5 諸収入**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
33,855,000 円	30,433,250 円	30,433,250 円	89.9%	0 円	0 円

**項1 預金利子**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
1,000 円	33,390 円	33,390 円	3339.0%	0 円	0 円

**目1 預金利子**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
1,000 円	33,390 円	33,390 円	3339.0%	0 円	0 円

**項2 雑入**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
33,854,000 円	30,399,860 円	30,399,860 円	89.8%	0 円	0 円

## 目1 雑入

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
33,854,000 円	30,399,860 円	30,399,860 円	89.8%	0 円	0 円

施設利用者からの実費弁償金等であり、収入減の主なものは私用電気使用料の1,260,694円減と消費税還付金1,845,343円減です。

項 目	金 額 (円)
金融機関預金利子	33,390
私用電気使用料	21,212,306
私用水道使用料	3,179,299
私用下水道使用料	3,777,901
私用ガス使用料	100,265
食肉市場整備事業費	1,975,432
消費税還付金	154,657

## 款6 市債

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
114,800,000 円	114,800,000 円	114,800,000 円	100.0%	0 円	0 円

### 項1 市債

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
114,800,000 円	114,800,000 円	114,800,000 円	100.0%	0 円	0 円

### 目1 農林水産業債

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
114,800,000 円	114,800,000 円	114,800,000 円	100.0%	0 円	0 円

食肉センター・食肉市場の施設整備事業資金です。

# 支出

## 款 1 業務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
495,295,000 円	478,581,034 円	96.6%	2,728,000 円	13,985,966 円

## 項 1 業務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
495,295,000 円	478,581,034 円	96.6%	2,728,000 円	13,985,966 円

## 目 1 業務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
495,295,000 円	478,581,034 円	96.6%	2,728,000 円	13,985,966 円

〔一般職給〕 3 人

31,333,584 円

目的	効率的な施設の実現				
指標	機器のトラブル回数	目標	重故障 15 回 / 年 軽故障 230 回 / 年 微故障 430 回 / 年	実績	重故障 13 回 / 年 (17 年度 22 回 / 年) 軽故障 267 回 / 年 (17 年度 296 回 / 年) 微故障 185 回 / 年 (17 年度 389 回 / 年)
説明	<p>消費者に安全で安心な食肉を供給し、安全性の確保された衛生的かつ効率的な作業環境を築くため、施設・設備の整備及び保守点検、修繕等を実施するとともに、(株)三重県四日市畜産公社に施設・設備等の点検、運転、整備業務等を委託しました。</p> <p>平成 11～13 年度にと畜ライン等の全面改修を実施し、整備当初から機器のトラブルが頻発していましたが、点検、改良整備を繰り返すことにより、トラブルが年々減少して、設備・機器が安定して来ています。</p> <p>今後、目標を達成するため、老朽設備を更新していくとともに、17 年度から開始した専門業者への施設管理委託で蓄積されていく施設管理データを最大限に活用して的確な施設管理を実施することにより、より効率的な施設の実現を目指していきます。</p>				

〔施設維持管理費〕 56,016,813 円 (その他特財 41,926,833 円)

家畜逃走防止対策のための施設・設備改良等に 6,030,692 円を支出し、年度内に工事が完了できなかった正門改修工事の 2,728,000 円が明許繰越となりました。

〔食肉センター食肉市場業務委託費〕 57,531,000 円 (その他特財 50,000,000 円)

〔施設整備事業費〕 150,462,089 円 (市債 114,800,000 円)  
(その他特財 7,854,657 円)

施設整備事業内容	実施額 (円)
<b>豚部分肉処理加工施設整備事業</b> 近年、消費者の食の安全性に対する意識が高まっている中、より安全・安心な食品供給が望まれています。当施設において豚については、現在、枝肉の形で出庫されていますが、これを一連の温度管理された施設内で部分肉処理加工して箱詰めまで行い、より衛生的な食肉供給を目指します。 本年度は、事業整備用地として隣接する土地建物を取得するとともに工事設計業務委託を開始しました。	113,759,350 内訳 土地 93,200,000 建物 17,000,000 設計委託費 (H18 分) 2,040,000 (契約金額 6,825,000) 不動産鑑定他 1,519,350
<b>せり設備システム老朽更新事業 (附帯工事費等含む)</b> 平成 7 年 3 月に整備され老朽化しているせり設備システムの更新を平成 18・19 年度の 2 カ年事業で実施します。	35,675,850 内訳 本体工事 (H18 分) 26,880,000

<ul style="list-style-type: none"> <li>・せり管理システム（管理サーバー、ソフト等）</li> <li>・せり機械システム（主表示盤、せり操作卓等）</li> <li>・枝肉計量機、監視カメラ、入荷管理システム等</li> </ul>	（契約金額 67,200,000） 附帯工事費等（2階連絡通路設置等） 8,795,850
その他設備等設置・改修工事 格付員室換気設備設置、焼却炉バーナーコントロール取替を実施しました。	311,850
と畜用備品等導入 エアーナイフ、施設管理用防水デジタルカメラ他を導入しました。	715,039

目的	市場上場頭数を増やす						
指標	遠隔地出荷奨励	目標	牛	300 頭	実績	牛	13 頭
			豚	45,000 頭		豚	44,643 頭
	牛		1,100 頭	牛		551 頭	
	豚		5,000 頭	豚		22,922 頭	
説明	食肉市場において、食肉の円滑な流通と適正な価格形成を確保するため、卸売会社である株式会社三重県四日市畜産公社を通じて、集荷及び販売対策事業を実施して市場運営の健全化を図りました。豚については、新規大口出荷者の確保等により、目標をほぼ達成することができました。牛については、全国的な出荷頭数減及び他市場との競合により年々上場頭数が減少していく状況です。総取引金額では、39億円と対前年比99.1%となりました。今後、増加した豚取引の確保と特に牛の上場頭数増加を実現するため、引き続き効果的な集出荷対策の実施を目指していきます。また、牛肉安全性確保対策事業3,924千円については、当施設でBSEが確認されなかったため、不執行でした。						

〔市場機能強化対策事業費補助金〕 80,853,000 円 （県支出金 40,426,000 円）

#### 食肉センタ - 業務について

本年度の開場日数は 242 日で、食肉センターの使用状況は下表のとおりとなりました。牛については全国的な出荷頭数減及び他施設との競合の影響を受け、前年度より減少し、より積極的な集荷活動が必要になっています。豚については新規大口飼養農家出荷確保もあり、前年度より増加しました。

#### ・食肉センタ - 使用状況

区 分	牛	豚	馬	子 牛	めん羊	計
本年度計画頭数(頭)	3,700	94,000	0	0	0	97,700
本年度と畜頭数(頭)	3,312	96,126	0	2	0	99,440
(前年度 " )	(3,363)	(94,921)	(0)	(2)	(0)	(98,286)
本年度使用料(円)	6,955,200	55,464,702	0	1,154	0	62,421,056
(前年度 " )	(7,062,300)	(54,769,417)	(0)	(1,154)	(0)	(61,832,871)
前年度対比(%)	98.5	101.3	-	100.0	-	101.0

#### 食肉市場業務について

本年度の食肉取引状況は下表のとおりで、牛については、他市場との競合の影響を受け、取引頭数が前年に引き続き減少しました。また、取引単価も低調に推移しました。

一方、豚については、新規大口出荷者の確保等により、取引頭数が増加するとともに、取引単価も年間を通じ堅調に推移しました。

総取引金額では、対前年比99.0%という結果になりました。

なお、上場率（取引頭数/と畜頭数）については、牛25.8%、豚98.6%となっています。

今後、増頭した豚の取引頭数の確保と減頭した牛の取引頭数を増加させるための積極的な集荷活動が必要となっています。

・食肉取引状況

区 分		取引成立頭数	取 引 重 量	取 引 金 額	平 均 単 価
牛	本年度計画	1,100 頭	440,000.0kg	704,000,000 円	1,600 円 / kg
	本年度実績 (前年度)	854 (918)	331,318.2 (364,103.0)	633,293,880 (732,815,728)	1,911 (2,013)
	前年度対比(%)	93.0	91.0	86.4	94.9
豚	本年度計画	93,000	6,975,000.0	2,580,750,000	370
	本年度実績 (前年度)	94,798 (93,859)	7,210,959.2 (7,115,622.4)	3,238,951,401 (3,176,928,165)	449 (446)
	前年度対比(%)	101.0	101.3	102.0	100.7
計	本年度実績 (前年度)	95,652 (94,777)	7,542,277.4 (7,479,725.4)	3,872,245,281 (3,909,743,893)	- -
	前年度対比(%)	100.9	100.8	99.0	-

〔一般経費〕 102,374,548 円 (その他特財 28,303,161 円)  
 〔全国食肉市場長連絡協議会負担金〕 10,000 円

款 2 公債費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
112,105,000 円	111,680,219 円	99.6%	0 円	424,781 円

項 1 公債費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
112,105,000 円	111,680,219 円	99.6%	0 円	424,781 円

目 1 元金

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
81,318,000 円	81,317,856 円	100.0%	0 円	144 円

〔農林水産業債償還金〕 81,317,856 円 (県支出金 14,109,000 円)

目 2 利子

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
30,787,000 円	30,362,363 円	98.6%	0 円	424,637 円

〔農林水産業債利子〕 30,362,361 円 (県支出金 5,039,000 円)  
 〔一時借入金利子〕 2 円

**款3 予備費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
500,000 円	0 円	0%	0 円	500,000 円

**項1 予備費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
500,000 円	0 円	0%	0 円	500,000 円

**目1 予備費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
500,000 円	0 円	0%	0 円	500,000 円